No. 444

合格作戦・超絶チート ULTIMATE CHEAT SHEET

難関国公立 英語 合格の作戦書【和訳・英作文・要約で差をつける】

難関国公立の二次は「記述で部分点を積む」試験。採点者に点をもらう答案の型と、共テと両立する1年の作戦をこの1枚に。

Web版はこちら

ここだけ3行

1 二次は部分点の積み上げ。要素を数えて書き、白紙は作らない

2 和訳は構文→直訳→日本語化。英作文は「書ける英語」だけで書く

3 秋までに第一志望を1年分解き、添削→書き直しを毎週回す

敵の正体：二次は「部分点を積む」試験

マーク式は1問ごとに○か×。二次の記述は、多くの大学が細かい採点基準を公表していないが、**要素ごとに点が入る（減る）と考えて答案を作る**のが安全だ。合否を分けるのは難問の完答より、全大問で部分点を拾い切ること。読めた所までででも要素を書けば点が残りうるが、白紙は確実に0点。「わからない＝書かない」をやめるのが作戦の第一歩。

◆ 形式別：採点者に点をもらう型

記述の中心はこの6形式（別にリスニング・文法・スピーキングを課す大学もある）。志望校がどれを何題出すかを最初に数える。

形式	減点されない型	採点者が見る所
下線部和訳	構文確定→直訳→日本語化	修飾先・並列の取り方、訳語、訳抜け
内容説明（日本語）	要素を数える→設問に合う文末	指示語・比喩を中身に開いたか
要約	主張＋根拠・対比。例は原則削る	主張の有無、論理のつながり、字数
自由英作文	主張→理由・具体例→まとめ	問いに答えたか、論理、文法
和文英訳	和文和訳→S V決定→修飾は後ろ	意味のずれ、訳し漏れ、文法
英語で答える読解	問われた所だけ簡潔に。長い丸写しは避ける	内容の正しさと英語の正確さ

◆ 和訳・説明で部分点を取り切る6技 6

詳しくは→シート『英文和訳テク20』『記述・説明問題』

☐ **1 SVに印、修飾に( )**

書き始める前に下線部へ書き込む。構文が正しければ日本語が多少ぎこちなくても部分点が残りやすい。いきなり意訳すると構造の誤りに気づけない。

> What surprised me most was how quickly the children adapted.
> 私がいちばん驚いたのは、子どもたちがいかに早く順応したかということだった。

☐ **2 名詞構文は「文」に戻す**

動詞から来た名詞や無生物主語は、「～が…すること」「～ので」と文に開くと自然で、構文を理解していることも伝わる。

> His failure to reply worried his parents.
> 彼が返事をしなかったので、両親は心配した。

☐ **3 指示語・比喩は中身に開く**

「どういうことか」は和訳ではなく説明。this や比喩を本文の具体的な内容に置き換える。北大・神戸大などは和訳でも「指示語を明らかに」の条件がつく。

☐ **4 文末は設問が決める**

なぜ→「～から。」、どういうこと→「～ということ。」、何を指す→名詞で終える。中身が正しくても文末がずれると減点されうる。

☐ **5 要素を数えてから書く**

書く前に入れる要素を本文から数え、余白に「要素3」とメモ。字数が足りなければ修飾を削り、要素は削らない。書き終えたら数を照合する。

☐ **6 知らない語でも止まらない**

前後の言い換え・対比・例から意味を推測して訳を入れる。空欄にすると、構文が取れていることさえ採点者に示せない。

実演：要素で書く説明問題（オリジナル）

本文：Many people believe that failure should be avoided. However, **failure is a teacher in disguise**: when an experiment goes wrong, scientists are forced to ask why, and this question often leads to discoveries they would never have made otherwise.
／ 設問：太字部はどういうことか。／ 要素：①うまくいかないと原因を問わざるを得ない ②その問いが、失敗なしには得られない発見につながる ③比喩＝一見そうは見えないが、実は教えてくれる
／ 解答例：**実験がうまくいかないと科学者はその原因を問わざるを得ず、その問いが失敗しなければ得られなかった発見につながることが多いため、失敗は一見そうは見えないが、実は多くを教えてくれるものだということ。**比喩を開き、要素3つを因果でつなぎ、「～ということ。」で終える。

◆ 英作文：減点されない英語の作り方 5

詳しくは→シート『和文英訳テク30』『自由英作文の型』

☐ **1 和文英訳は和文和訳から**

日本語らしい表現は、意味を取り出して英語にしやすい日本語に直してから訳す。「手間がかかる」→「時間と労力が要る」。

> It takes a lot of time and effort to cook every day.
> 毎日料理をするのは手間がかかる。

☐ **2 骨組み（S V）が最優先**

主語と動詞を先に決め、時・場所・理由は後ろから足す。長い日本語の1文は英語2文に切ってよい。無理に1文にして崩すより安全。

☐ **3 1文目で問いに答える**

賛否・意見を問う自由英作文は、問いの語を使って立場を1つに言い切る（両面の検討を求める指示ならそれに従う）。理由には「だから何？」をもう1文。理由の数・語数などの条件に下線を引いて照合。

☐ **4 中身を英語に合わせる**

言いたい内容を、自分が正確に書ける英語に合わせて調整する。覚えたての難語・難構文は誤用の危険が大きい。

☐ **5 見直しは大きい減点から**

①問い・条件 ②論理とつなぎ言葉 ③S V・時制・三単現 ④名詞の数と冠詞 ⑤つづり・語数。この順に1つずつ探す（→シート『英作文 提出前チェック30』）。

◆ 採点者が赤ペンを入れる答案 6

☐ ✕ ~~下線部の和訳を書いて「説明」を終える~~
○ **指示語・比喩を開き、内容を説明する**
和訳だけでは「どういうことか」に答えていない

☐ ~~× 要約に細かい例や数字を並べて字数切れ~~
○ 主張と根拠・対比を優先。例は原則削る
肝心の要素が入らなくなる。論旨に欠かせない例は一般化して短く

☐ ~~× 賛否を問われて There are both advantages and disadvantages. で書き始める~~
○ 1文目で立場を1つに言い切る
問いに答えないと内容点が大きく減る

☐ ~~× 覚えたての難構文で英作文を飾る~~
○ 確実に書ける構文と語で組み立てる
1か所の崩れが文全体の評価を下げる

☐ ~~× 読解に時間をかけ、英作文が白紙~~
○ 英作文の時間を先に確保する
白紙の大問は部分点も0

☐ ~~× 薄い字・崩した字で詰めて書く~~
○ 採点者が迷わない字で書く
読めない字は正しく評価されないおそれ

◆ 大学別の特徴 早見表

2026年度前後の大学の公表資料と各大学のシートによる。形式は年度で変わるので、最新の募集要項・過去問で必ず確認。

大学	形式の特徴	作戦の最優先
東京大	120分。途中に30分程度のリスニング。要約・英作文・和訳・誤り指摘など多形式	大問別の時間設計。放送前に先読みの数分を残す
京都大	120分・大問4。長文の和訳と説明2題＋和文英訳＋自由英作文	構文の精度と和文和訳。量より深さ
一橋大	120分・リスニングなし(2026年度)。長文2題＋選んで書く自由英作文	説明問題の要素拾い。英作文の形式変化に備える
大阪大	一般学部90分(文105分)。和訳・自由英作文・和文英訳。外国語学部は120分でリスニングあり	構文を取る和訳と、逐語訳しない英訳
東北大	100分。長文2題＋会話文と意見英作文＋和文英訳	和訳より内容説明・流れの理解(大学の講評)
名古屋大	105分。設問が英語で、英語で答える問題が多い。グラフ英作文	短い語数指定を範囲ぴったりで書く
九州大	120分。長文3題＋自由英作文約100語＋図表の英語要約約80語(2026年度)	英語でまとめる力。読む・書くを半々で
北海道大	90分・大問4。指示語を補う和訳、英語で答える読解、会話文	指す内容を遠くまで探す。丸写ししない英語
神戸大	80分・125点。論説2題＋小説1題＋英作文	条件つき和訳と速さの両立。小説は発話の意図
東京外大	英語120分(リスニング込み)＋スピーキング試験	聞いて要点をメモし、英語で書き直す力

◆ 共テとの両立：配分の作戦 5

☐ **1 今日、配点比率を調べる**
共テと二次の英語の配点比率は大学・学部で大きく違う。志望学部の募集要項で確かめ、勉強時間の配分の根拠にする。

☐ **2 秋までは二次7：共テ3**
記述力は伸びるのに時間がかかる。秋までは和訳・英作文を軸に、共テは週1回分の演習と毎日のリスニングで維持(配分は目安)。

☐ **3 12月～共テは共テ中心**
共テ形式を本番の時間で週2～3回。それでも英作文は週1本書き続け、記述の手を止めない(→シート『レベル別の共テ戦略』)。

☐ **4 共テ翌日から二次に全振り**
国立大学の前期日程(2月25日が試験第1日)まで約5～6週間。自己採点を終えたら、すぐ第一志望の解き直しとセット演習に切り替える。

☐ **5 精読と速読は両方に効く**
二次で鍛える構文把握は共テの根拠確認を正確にし、共テの速読は二次の長い本文を読み切る力になる。解いた英文の音読で両方を鍛える。

◆ 月別ロードマップ(本番＝二次の前期日程)

月数は二次本番まで。量は目安で、今の実力に合わせて増減する。

時期	ゴール	やること
土台期 12→6か月(3～8月ごろ)	1文を構造で読み、書ける例文を増やす	単語を毎日。構文の例文を暗唱。和訳1日1文(SVと( )を書く)。夏に要約・自由英作文の型を入れる
実戦期 6→3か月(9～11月ごろ)	形式ごとの型で答案を書ける	遅くとも10月に第一志望を1年分。和訳・説明を週3題、英作文・要約を週2本書いて添削→書き直し
過去問期 3→1か月(12～1月)	共テを仕上げつつ二次の型を保つ	12月は第一志望の大問別演習と共テ演習を並行。1月は共テ中心、英作文は週1本
直前期 1→0か月(共テ後～)	本番の時間で迷いなく解き切る	第一志望のセット演習を本番の時間帯に。解き直しとミスノート。新しい教材に手を出さない

◆ 実戦期の1週間(例)

9～11月ごろの例。毎日の単語・音読は別に続ける。

曜日	二次(記述)	共テ・その他
月	下線部和訳2題(SVと( )を書いてから)	リスニング15分
火	自由英作文1本→採点・添削に出す	共テ型の大問を2つ
水	内容説明・要約1題(要素を数えてから)	リスニング15分
木	和文英訳1題→火曜の英作文を書き直す	共テ型の大問を2つ
金	和訳2題＋ミスノートの見直し	リスニング15分
土	第一志望の過去問を大問別に1～2題	共テ1回分を本番の時間で
日	1週間の答案の書き直しと解き直し	予備日(遅れの回収)

◆ 添削の受け方：赤ペンを点に変える5手順 5

① **時間を計って書き、自己採点**
提出前に「入れた要素の数」「条件(語数・理由の数)を満たしたか」を答案の横に書く。自分の見積もりと赤ペンの差が弱点。

② **聞きたいことを1～2点添える**
「この構文で通じるか」「要素の過不足は」と質問を絞って出す。何を見てほしいかが明確な答案ほど、深い添削が返る。

③ **赤を3種に分ける**
内容(問いのずれ・要素の欠け)／構成・論理／文法・語法。同じ種類が続く所が、次に練習する所。

④ **翌日、赤を見ずに書き直す**
直された答案を眺めるだけでは身につかない。同じ問題を自力で書き直し、もう一度見てもらうまでが1セット。

⑤ **ミスノートに1行**
「a/the の抜け」「さえ→even を落とす」など自分の誤りの型を1行で。直前期はこのノートだけを繰り返し見る。

AI添削と「出題の意図」の使い方
AI添削は文法・語法の指摘を何度でもすぐ受けられるのが強み。書き直しの回数を増やすのに使う。ただし大学の採点基準そのものではないので、内容・要素の判断は先生の添削と合わせる。東北大・阪大・九大・神戸大などは「出題の意図」や講評を公表している。**大学自身が書いた「見たい力」**は、過去問の答案を自己採点する最高の物差しだ。

◆ 過去問の回し方 4

☐ **1 今と同じ形式の年度から**
第一志望は形式が同じ範囲で5〜10年分が目安。形式変更の予告は大学の公式サイトで確認してから、どの年度を中心にするか決める。

☐ **2 大問別→セット**
最初は大問ごとに何年分も解いて型を作り、直前期に本番の時間でセット演習。解く順番と各大問の上限時間を決め、本番で変えない。

☐ **3 似た形式の他大学で類題**
第一志望を解き切ったら、同じ形式を出す大学の過去問で練習量を補う。和訳中心なら京大・阪大・神戸大、英語で答えるなら名大・北大など(早見表を参照)。

☐ **4 同じ年を時期をあけて2回**
数日後に×の問題を、直前期に全体をもう一度。2回目で書けて初めて「できる」に変わる(→シート『過去問の使い方』)。

◆ 直前・当日の作戦 6

☐ **1 本番の時間帯で通し演習**
直前期は二次の試験時間と同じ時間帯に、同じ時間でセット演習。体と頭のリズムを本番に合わせる。

☐ **2 前日は型とミスノートだけ**
新しい問題は解かない。答案の型・自分の誤りの型・時間配分を確認して早く寝る。

☐ **3 最初の1分で全大問を見る**
時間配分を確かめ、英作文の問いを先に読んで頭の片隅で準備させておく。

☐ **4 上限時間で切って次へ**
1問に粘りすぎない。決めた時間を超えたら書ける所まで書いて次へ進み、最後に戻る。

☐ **5 白紙を作らない**
構文が取れた所まで訳す、要素を1つでも書く。部分点の試験では、書いた分だけ点が残る可能性がある。

☐ **6 終わった科目は振り返らない**
休み時間に答え合わせをしない。次の科目の型を見直す時間に使う(→シート『入試当日チェック』)。

◆ 確認テスト

1 「なぜ筆者はそう考えるのか」と問われた時の答えの文末は ＿＿＿ 。
a 〜から。(〜ため。) b 〜という点。 c 〜ということ。
d 〜という考え。

2 要約で原則として捨てるのは ＿＿＿ 。
a 筆者の主張 b 具体例 c 対比の軸 d 根拠

3 和文英訳で日本語らしい表現に出会ったら、最初に ＿＿＿ 。
a 1語ずつ直訳する b 英語にしやすい日本語に言い換える
c 難しい熟語を探す d 飛ばして最後に書く

4 国立大学の前期日程は、＿＿＿ が試験第1日と決められている。
a 1月15日 b 3月12日 c 2月25日 d 2月1日

5 His refusal to help surprised us. の自然な訳は ＿＿＿ 。
a 私たちは彼の手伝いに驚いた
b 彼が手伝うのを拒んだので、私たちは驚いた
c 彼は私たちを驚かせるのを拒んだ
d 彼の拒否の手伝いが私たちを驚かせた

◆ 書いたら採点・予想で使う 2

英作文超絶採点くん(原田英語) 無料
自由英作文・和文英訳を貼るか撮るだけで100点満点の採点と一文ずつの赤入れ。書き直しの回数を増やす相棒。
haradaeigo.com/eisakubun-saiten-ai/

英語長文超絶予想くん(原田英語) 無料
難関国公立などに出そうな英文を出典から予想。過去問を解き切った後の類題探しに。
haradaeigo.com/chobun-yosokun/

◆ 解答

1 〜から。(〜ため。) 理由は「から・ため」で終える
2 具体例 字数は主張と根拠に使う
3 英語にしやすい日本語に言い換える 和文和訳が鉄則
4 2月25日 国立大学協会の実施要領。共テ後の約5〜6週間が直前期
5 彼が手伝うのを拒んだので、私たちは驚いた 名詞構文は文に戻して訳す

参考資料 原田英語｜英作文超絶採点くん／東京大学｜令和8(2026)年度 東京大学入学者募集要項(前期日程)／京都大学｜令和8年度 京都大学入学者選抜要項／一橋大学｜令和8年度 一般選抜学生募集要項／大阪大学｜令和8年度 一般選抜(前期日程)学生募集要項／東北大学｜出題意図・試験問題(学部入試)／名古屋大学｜令和8年度 一般選抜 学生募集要項／九州大学｜令和8年度 一般選抜(前期日程)外国語(英語)出題意図／北海道大学｜令和8年度 一般選抜個別学力検査等の試験問題及び正解・解答例等について／神戸大学｜令和8年度前期日程 外国語(英語)出題の意図・評価ポイント／東京外国語大学｜2027年(令和9年)度 入学者選抜要項／国立大学協会｜国立大学の2028年度入学者選抜についての実施要領